

1 級 学科試験問題

1. 試験時間 60 分

2. 問題数 50 題 A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。（電源は予め切り、バック等にしまって下さい）。
- (2) 机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A 群（真偽法 25 題）及び B 群（多肢択一法 25 題）の 50 題です。
 - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入して下さい。
 - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙に記入して下さい。
 - ③ 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A 群、B 群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。また、退室後は試験が終了するまで再入室ができません。
- (11) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。試験開始後 30 分間は退出できません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群（真偽法）

1. 建築物衛生法は、他の衛生諸法と同じく最低基準を定めた取締法である。
2. フロアオイルは、不乾性の鉱油を主成分とした液状の床維持剤であり、ビニル系の床材に適している。
3. ドライフォーム洗浄方式は、カーペットに洗浄液を直接噴霧してブラッシングする洗浄方式である。
4. インспекションの評価項目は、常に一律の内容で品質評価シートを作成する。
5. 病院から排出される感染性の高い廃棄物は、感染性一般廃棄物である。
6. 労働衛生法上のリスクアセスメントとは、職場のリスクを定量的に見積り、労働災害を発生させない仕組みである。
7. 建築物清掃業の登録は営業所ごとに行われ、登録の有効期間は5年である。
8. 木質系床材の仕上げ剤には樹脂塗料だけでなく、乳化性や油性のワックス（ろう）も使われる。
9. 清掃のゾーニングは、汚れ方や汚れの種類の特徴によって区域を分けて清掃方法を考える手法である。
10. 標準作業量は、「標準作業量＝（作業面積×作業回数）×作業時間」で算出することができる。
11. 新興感染症の感染源にはウイルスが多く、感染経路は接触感染・空気感染が多い。
12. トイレ・洗面所の品質点検は、冬季は手垢、夏季は綿埃をポイントとして見る。
13. 肺に影響を及ぼす粒子の大きさは、 $0.1\sim 10\mu\text{m}$ （マイクロメートル）程度である。
14. 建築物環境衛生維持管理要領では、廃棄物処理設備の点検は12月ごとに1回定期的に行わなければならないと定められている。
15. ほこりの粒子は煙やスモッグの粒子よりもはるかに大きく、概ね $10\sim 100\mu\text{m}$ （マイクロメートル）である。
16. 階段のノンスリップに、土砂や床維持剤が詰まると転落事故につながる。
17. 人間の体に侵入して、さまざまな感染症を引き起こす微生物を有用微生物という。

18. 作業手順書作成の要点は、「やりやすさ」「安全」「生産性」である。
19. 労働災害は、その程度によって死亡・廃疾、休業、不労災害に分けられる。
20. 建築物には、意匠・構造・設備の3つの要素が必要である。
21. 助剤は、汚れの再付着を促進する作用がある。
22. はしごは水平面に対して75度に向け、上部は20cmくらい上方に出るようにする。
23. しみの中には洗剤成分の一つであるアルカリ分によって変色する場合が多いと言われている。
24. 内壁のクリーニングは、汚染物質を除去し、美観と照度を保つことにある。
25. 塗装壁材のアクリル系合成樹脂エマルジョンペイントは、耐アルカリ性、耐酸性に優れている。

■ B群（多肢選択法）

1. ごみの搬出で、最も適切なものはどれか。
 - イ 搬出は原則1日1回おこなう
 - ロ 搬出する時間は問わない
 - ハ ビルの都合で集積所の設備がなくてもよい
 - ニ 集積所に貯蔵することで、ごみ処理は完了する

2. 清潔関係規則の基準について、最も不適切なものはどれか。
 - イ 給水栓における通常の遊離残留塩素 → 0.1ppm以上
 - ロ 給水栓における汚染時の遊離残留塩素 → 0.2ppm以上
 - ハ 日常行う清掃のほか、大掃除を6月以内ごとに1回、定期的・統一的に行う
 - ニ 男性用小便器：40人ごとに1個以上

3. 高所作業に関する記述の中で、最も不適切なものはどれか。
 - イ すべりやすい履物は使わない
 - ロ 手すりが設けられていないときは、必ず安全帯を使用する
 - ハ はしごは、すべり止めのあるものを使用する
 - ニ 脚立は脚と水平面との角度は75度を超えるものを使用する

4. 次のうち、標準作業時間に含まれないものはどれか。
 - イ 除外時間
 - ロ 主体作業時間
 - ハ 余裕時間
 - ニ 付随時間

5. カーペット素材の見分け方の一つである燃焼法の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
 - イ ウールの燃え方は、縮れながらくすぶるように燃える
 - ロ アクリルは溶けながら徐々に燃え、炎を離すと燃え続けない
 - ハ ナイロンは冷えるとガラスのように硬い球になり、熱いうちに引き伸ばすと糸状になる
 - ニ 綿や麻は燃やすとパッと燃え、炎を離しても燃える

6. 消毒薬の使用方法で、最も不適切なものはどれか。
 - イ 消毒薬は、高水準、中水準、低水準のものに分類される
 - ロ 消毒薬は、瞬時に殺菌できない
 - ハ 血液や汚れなどがあると、消毒薬の効果は低減する
 - ニ 消毒薬の中では微生物は生息できない

7. 建築図面の一般図に、含まれないのはどれか。
- イ 配置図
 - ロ 平面図
 - ハ 軸組図
 - ニ 透視図
8. 災害発生時の処置の中で、最も不適切なものはどれか。
- イ 災害に直結した設備・機械などの運転を直ちに止める
 - ロ 被災者を救出する
 - ハ 近隣者に応援を求め、場合によっては救急車の派遣を要請する
 - ニ 災害発生現場の後片付けを行う
9. 清掃用機材に関する記述のうち、最も適切なものはどれか。
- イ 自動床洗浄機は、後進しながら、作業をする構造となっている
 - ロ 真空掃除機の集塵部の気圧は、外部の気圧に比べて高い
 - ハ ウエット型の真空掃除機の排気は、モータの冷却のため、モータ内部を通して排気される
 - ニ エクストラクターは、カーペットのシャンプークリーニング後のすすぎ洗いに適している
10. 各種粒子の大きさに関して、最も不適切なものはどれか
- イ たばこ煙は、1～10 μm （マイクロメートル）程度である
 - ロ 花粉は、10～100 μm 程度である
 - ハ 持込み土砂は、10～2,000 μm 程度である
 - ニ 毛髪の太さは、100 μm 程度である
11. 感染経路のうち、最も不適切なものはどれか
- イ 接触感染
 - ロ 飛沫感染
 - ハ 空気感染
 - ニ 直接感染
12. 建築物各部の性能に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 不特定多数の人が利用する床には、意匠性・防滑性が要求される
 - ロ 壁には、耐震性・防火性が要求される
 - ハ 階段には、耐摩耗性・防滑性が要求される
 - ニ 便所および洗面所は、耐水性が要求される
13. 環境のなかで健康に影響を与える因子として、最も不適切なものはどれか。
- イ 社会的要因
 - ロ 生物的要因
 - ハ 宿主的要因
 - ニ 化学的要因

14. 建築物清掃の管理プロセスで、最も適切な組合せはどれか。
- イ 計画 — 点検 — 改善 — 実施
 - ロ 実施 — 改善 — 計画 — 点検
 - ハ 計画 — 実施 — 点検 — 改善
 - ニ 計画 — 点検 — 実施 — 改善
15. 品質の点検評価の知識のうち、「汚れの状態」で最も不適切なものはどれか。
- イ 日常的なものか、定期的なものか
 - ロ 季節や天候により変化するか、しないか
 - ハ 周辺と著しく差があるかないか
 - ニ 連続性か、一過性か
16. カーペット繊維素材に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか
- イ ウールは、水溶性物質と結合しやすい
 - ロ ナイロンは、耐摩耗性に優れている
 - ハ ポリプロピレンは、親水性の素材である
 - ニ アクリルは、吸水性がない
17. 洗剤に関する次の文章の[]内に入る語句の組合せのうち、最も適切なものはどれか。
「洗剤の[A]として用いられた[B]が、湖沼などの富栄養化の原因となり業務用・家庭用の清掃洗剤の[B]の使用は自粛されている」
- | | [A] | [B] |
|---|-------|------|
| イ | 界面活性剤 | リン酸塩 |
| ロ | 界面活性剤 | ケイ酸塩 |
| ハ | 助剤 | リン酸塩 |
| ニ | 助剤 | ケイ酸塩 |
18. 次の仕上げ面の中で、アルミニウム仕上げ面について記述しているのはどれか。
- イ ヘアライン仕上げ
 - ロ エッチング仕上げ
 - ハ 小叩き仕上げ
 - ニ シルバー仕上げ
19. 清掃用洗剤の記述のうち、最も適切なものはどれか。
- イ 合成洗剤は、天然油脂を主剤としている
 - ロ 洗剤は、使用する濃度に比例して洗浄効果が高まる
 - ハ 一般洗剤は、アルカリ性のものが最も多い
 - ニ 洗剤の主成分として用いられるのは、陰イオンと非イオン界面活性剤である

20. 床洗浄後の廃液処理について、最も不適切なものはどれか。
- イ 床維持剤や洗剤は、環境に影響の少ない製品を選ぶ
 - ロ 洗剤の希釈は正確に行う
 - ハ 洗剤の使用量及び廃液量の記録を残す
 - ニ 市販の廃液処理剤の使用は避ける
21. エスカレータ清掃の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ 手すりは手垢汚れが付着するが、ベンジン等を多用してもゴムの表面を傷めない
 - ロ スカートガードの手入れは固く絞ったタオルで拭きあげ、汚れに応じ専用洗剤を用いる
 - ハ ランディングプレートは真空掃除機を用いて除塵し、固く絞ったモップで拭き上げる
 - ニ デルタガードが外れていたり、損傷していたら担当者に報告する
22. ビル内生物に関する次の記述として、最も不適切なものはどれか。
- イ 屋内性のネズミは、ドブネズミ・ハツカネズミ・クマネズミの3種類である
 - ロ ゴキブリは、チャバネゴキブリよりクロゴキブリが多くみられる
 - ハ チカイエカは、ビルの地下に多く汚水槽・排水槽・し尿浄化槽に発生する
 - ニ チョウバエは、地下の汚水槽・し尿浄化槽などに多く発生する
23. 特定建築物の延べ床面積と用途の組合せで、最も不適切なものはどれか。
- イ 5,000 m²の図書館
 - ロ 3,000 m²の事務所
 - ハ 8,500 m²の小学校
 - ニ 12,000 m²の病院
24. 建築物清掃の作業管理に、含まれないものはどれか。
- イ 作業計画に基づく人員配置
 - ロ 定期的な品質点検
 - ハ 従事者への正しい作業の教育指導
 - ニ 特別清掃や臨時清掃の提案と計画
25. エスカレータの部位に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。
- イ ランディングプレート
 - ロ デルタガード
 - ハ インジケータ
 - ニ デッキボード

1級 学科試験問題

< 正 解 >

| A群 真偽法 | |
|--------|----|
| 設問 | 解答 |
| 1 | 誤 |
| 2 | 誤 |
| 3 | 誤 |
| 4 | 誤 |
| 5 | 誤 |
| 6 | 正 |
| 7 | 誤 |
| 8 | 正 |
| 9 | 正 |
| 10 | 誤 |
| 11 | 誤 |
| 12 | 誤 |
| 13 | 正 |
| 14 | 誤 |
| 15 | 正 |
| 16 | 正 |
| 17 | 誤 |
| 18 | 誤 |
| 19 | 正 |
| 20 | 正 |
| 21 | 誤 |
| 22 | 誤 |
| 23 | 正 |
| 24 | 正 |
| 25 | 正 |

| B群 多肢択一法 | |
|----------|----|
| 設問 | 解答 |
| 1 | イ |
| 2 | ニ |
| 3 | ニ |
| 4 | イ |
| 5 | ロ |
| 6 | ニ |
| 7 | ハ |
| 8 | ニ |
| 9 | ニ |
| 10 | イ |
| 11 | ニ |
| 12 | イ |
| 13 | ハ |
| 14 | ハ |
| 15 | ロ |
| 16 | ハ |
| 17 | ハ |
| 18 | ニ |
| 19 | ニ |
| 20 | ニ |
| 21 | イ |
| 22 | ロ |
| 23 | ニ |
| 24 | ニ |
| 25 | ハ |